

## 公の施設のあり方検討結果個表

施設の名称	日本絹の里		
所在地	高崎市金古町888-1		
所管部局・課	農政部蚕糸園芸課	現在の運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者
担当係	蚕糸係	内線	3093

### 1 施設の設置根拠(法律、条例等)

群馬県立日本絹の里の設置及び管理に関する条例(平成十年三月二十三日条例第十九号)

### 2 施設の役割

#### (1) 設置目的

本県蚕糸業振興の拠点として、養蚕から織物まで親しむことのできる展示機能や染織等体験機能を備えた施設を設置し、広く県民に蚕糸業の理解と興味を深める。

#### (2) 設置当初の状況

養蚕農家や収繭量が減少するなど、蚕糸業は厳しい状況が続いていたが、開館後各種の展示や体験学習を実施し、初年には48,000人以上が来館したことで、多くの県民に蚕糸業の理解を深めてもらうことができた。

#### (3) 施設を取り巻く現状

蚕糸絹業は厳しい状況が続いているが、平成26年に「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産登録されたこともあり、蚕糸絹業への関心が高まっている。

### 3 施設の概要

設置年月日	平成10年4月24日
敷地面積(所有者)	8,917㎡(群馬県)
主な施設(床面積、階数等)	本館RC造2階建・展示館木造平屋建 延べ床面積1,665.37㎡
建設費	850,010千円
備考	事務室増築(平成13年度) 27,615千円 ミュージアムショップ増築(平成29年度) 51,216千円

#### ◇入園料・利用料等 (円)

#### ◇利用時間(休館日)

区分	金額	午前9時30分～午後5時 (休館日: 火曜日、12/27～1/5) ※その他、臨時休館あり(展示入替、燻蒸消毒等)
一般	200	
大学生・高校生	100	
※中学生以下、障害者と介助者1名は無料		
※企画展開催時は別料金 (一般400円、大学生・高校生250円)		
※団体等、割引料金あり		

### 4 施設における実施事業

- ・日本絹の里の維持・管理及び利用の承認
- ・蚕糸絹業に関する展覧会の企画・開催
- ・染色、織り、繭クラフト等の体験事業の企画・運営
- ・シルクショップの運営
- ・蚕糸絹業関係者の交流支援
- ・蚕糸絹業に関する情報提供
- ・蚕糸絹業に関する資料の収集・管理
- ・蚕糸絹業に関する相談

## 5 管理運営コストの状況

(千円)

区 分	令和元年度 (当初予算額)	平成30年度 (決算額)	平成29年度 (決算額)	平成28年度 (決算額)	平成27年度 (決算額)
歳入(①)	35	37	190	190	190
使用料	35	37	190	190	190
歳出(②)	96,029	98,042	95,148	95,148	96,536
指定管理料	96,029	95,580	95,148	95,148	95,370
修繕費	0	2,462	0	0	1,166
歳入・歳出の差額(①-②)	▲ 95,994	▲ 98,005	▲ 94,958	▲ 94,958	▲ 96,346
歳入・歳出の主な増減理由	使用料収入は土地使用料、自動販売機設置賃貸借料(29年度契約満了)による。 修繕費について、平成27年度は展示棟屋根樋改修工事、30年度は事務所棟増築部空調設備改修工事を実施した。 なお、この他に平成29年度に地方創生拠点整備交付金を活用してミュージアムショップの増築及び展示品の更新を行った。				

※ 施設の管理運営に係る県の歳入・歳出

## ◇指定管理者の収支状況(指定管理業務に係る部分のみ)

(千円)

区 分	令和元年度 (当初計画額)	平成30年度 (決算額)	平成29年度 (決算額)	平成28年度 (決算額)	平成27年度 (決算額)
収入(①)	104,089	105,491	102,041	103,184	106,627
指定管理費	96,029	95,580	95,148	95,148	95,370
利用料金	6,000	3,358	4,374	4,290	5,127
負担金	2,000	3,054	1,713	1,951	1,818
その他	60	3,499	806	1,795	4,312
支出(②)	104,089	99,855	98,930	102,483	106,593
人件費	58,636	51,403	53,580	54,974	59,223
企画展示費	20,918	23,693	21,375	21,359	22,574
維持管理費	12,060	12,342	12,036	11,404	11,658
修繕費	1,490	2,546	2,800	2,471	2,697
事務費	4,769	4,041	3,720	4,384	4,727
租税公課	5,238	4,316	4,516	4,411	4,439
備品購入費	100	797	230	1,049	287
その他	878	717	673	2,431	988
収支(①-②)	0	5,636	3,111	701	34
歳入・歳出の差額、収支の主な増減理由	収入について、負担金は体験学習負担金・材料費、その他は前年度繰越金及びショップ運営事業収入等による。(平成30年度からショップ運営は(株)絹工房が行っているが、協会作成のポストカードの売上収入がある。) 支出について、減少理由は主に人件費であり、職員の退職に伴い若年層職員が増えたことによる。				

※ 指定管理者の指定管理業務に係る収支

6 職員の状況(各年度4月1日現在) (人)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
常勤職員	7	7	7	7	7
非常勤職員	9	9	11	11	11
合 計	16	16	18	18	18

7 施設利用の状況

区 分	令和元年度※	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
年間利用者総数(人)	10,197	44,139	43,520	44,040	45,296
うち、展示観覧者数(人)	7,391	22,225	26,352	25,675	28,243
有料観覧者数(人)	4,542	9,677	13,823	13,251	14,784
無料観覧者数(人)	2,849	12,548	12,529	12,424	13,459
目標利用者数(人)	46,000	46,000	46,000	46,000	45,000
施設稼働率(%)	—	—	—	—	—
稼働率対象施設(設備)	—				
利用者の主な増減理由	27～30年度の利用者数はほぼ横ばいである。				

※ 見込数又は途中実績

8 必要性及び管理運営方法についての方向性

区 分	内 容
施設の必要性	<p>日本絹の里は、蚕糸絹業振興の拠点及び蚕糸絹業関係者の交流施設となっている。また、世界遺産登録後、蚕糸絹業への関心は高まっており、蚕糸絹業に関する県民理解、伝統産業としての相互理解を深めるための情報発信の場としての役割を担っている。</p> <p>県内各地域及び県外からも来館者があり、展示の観覧や体験行事等を通して、本県が蚕糸絹業の中心的役割を果たしていることを広く周知するためにも、県有施設として維持していくことが必要である。</p>
業務等の見直し	<p>設置目的に適合した優良な管理運営が行われているが、引き続き管理運営コストの削減を図るための方策検討や取り組みが必要である。</p> <p>また、より多くの来館者の確保及び県民サービス向上に向けて、基本となる常設展や企画展の充実のための努力、体験学習や関連行事の工夫や広報手段・方法の検討を要する。</p>